

## **B. 報告：SRL への報告**

1. 緑のクリアファイルから血液依頼票の写しを取り出す。
2. 血液検査依頼票写しのすべてのページの左上に確認済みと記載し、2 から順に通し番号を右肩に記入する。
3. 次に Fax 送信票を取り出し送信票に送信者の氏名、送信枚数(送信票を含む)を記入し、“別紙のとおり問題はありませんでした”にチェックをする。
4. \*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*に Fax 送信票と血液検査依頼票を Fax する。送信後に宅配便受取票の SRL への連絡日、送信者サイン、送信済みにチェックを入れる。
5. SRL から受信確認の Fax をまつ  
(SRL から返信がない場合は当日責任者に報告する)

## **終了処理**

6. 上から調査台帳写し、SRL からの受信確認の Fax 送信票、元の Fax 送信票、血液検査依頼票写し、尿検査委依頼票写しの順に重ねて、SRL 送信票控えのファイルに綴じる。
7. 緑のクリアファイルを中身がないことを確認してクリアファイル入れに戻す。
8. 宅配便受取票を C. 宅配便受取票入力要領に従って入力する。

## **C. 終了処理：宅配便受取票入力要領**

1. ファイルメーカーを起動し、表紙より宅配便受取票入力ボタンをクリックする。
2. 当日の宅配便受取票が検索されるので該当地区の受取票を選択し、黄色の部分に入力を行う。
3. 宅配便受取票にファイルメーカー入力済みにチェックをし宅配便受取票ファイルに綴じる

## 当日責任者作業要領

### 同意書がない場合

1. 担当者から報告があった場合は、直ちに確認を行う。
2. 同意書(Cフォーム)が欠けているので同意書を探す。
3. 再度クリアファイル内を確認する。
4. 送付された箱を探し、同意書が残っていないか再度確認する。
5. 見つからない場合は調査地区台帳 調査中のレイアウトより確認票写しのコード番号を検索し、健診機関担当者に連絡し、同意書がない旨を連絡する。
6. 調査日から2日以内であればその日の午後4時まで待機し、同意書が見つからない場合は同意なしの扱いとする。2日以上が経過している場合は、再確認者の確認終了の報告まで待機し、それまでに見つからない場合は同意なしの扱いとする。
7. 同意書が見つかった場合は記載事項に漏れがないかを確認する。
8. 同意書の記載事項に漏れがない場合は、帳票類のクリアファイルを元のカラーボックスに戻す。調査台帳写しの該当者の氏名の横の×及び、同意書なしを二重線で消し、同意書ありと記載する。

### 同意書の記載内容に不備がある場合

1. 同意書の“①本日の調査にご協力ください“に○がついていない、あるいは署名がされていない、署名日に記載がない場合は同意なしの扱いとする。
2. 同意書の“①本日の調査にご協力ください“に○があり、署名、署名日がある場合は、調査台帳写しの該当者の氏名の横の×及び、同意書不適を二重線で消し、同意書ありと記載する。

### その他の不備があった場合

1. 同意書以外の帳票が欠けている場合
  1. 調査台帳写しや送付票を確認し、帳票について記載がないかを確認する。  
→ 該当の帳票がないことが記載されていた場合は調査台帳写しの該当箇所に赤字で欠と記載し元のカラーボックスに帳票ファイルに戻す。  
→ 記載がない場合
  2. 再度クリアファイル内を確認する。
  3. 送付された箱を探し、帳票が残っていないか再度確認する。
  4. 見つからない場合は調査地区台帳 調査中のレイアウトより確認票写しのコード番号を検索し、健診機関担当者に連絡し、帳票が欠けていることを連絡する。  
1週間以内に見つからない場合は調査台帳写しの該当箇所に赤字で欠と記載し元のカラーボックスに帳票ファイルに戻す。
2. 同意書の記入内容に漏れがある場合はが協力いただけるものの①本日の調査にご協力くださいに○が付いていることと署名があることを確認する。  
同意書の記入漏れについて以下方針で対応する。
  - ☆ 生年月日がない場合→電話番号が記載されていた場合は本人に確認する。記載されていない場合は住民票請求後に確定させる。
  - ☆ 住所がない場合は→電話が記載されていた場合は結果表を送付したいのでご本人に住所を電話で確認する。電話も記載されていないときは中央事務局で対応を検討。
  - ☆ 説明日、説明者署名がない場合→健診機関担当者に連絡し署名を依頼する。
  - ☆ 電話番号がない場合→必須としない

### 同意なし処理要領

1. 同意書がある場合(署名、署名日がないあるいは“①本日の調査にご協力ください”に○がない)は同意書に不同意と赤字で記載する。
2. 調査台帳写しの該当者の氏名を赤の二重線で受付番号から特記事項までを消す。
3. 同意書及び対象者の帳票類は不同意者帳票 boxに入れる。
4. 該当者の該当者の血液検査依頼票写し、尿検査依頼票写しの検体 No から氏名の欄に赤で二重線を引き、検体番号の欄の左側に”同意なし”と記載し、依頼票写しの左肩に赤字で変更ありと記載する。

### 検査依頼票確認要領

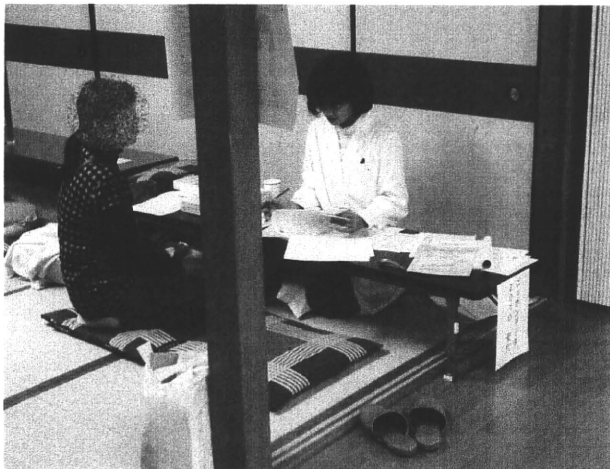
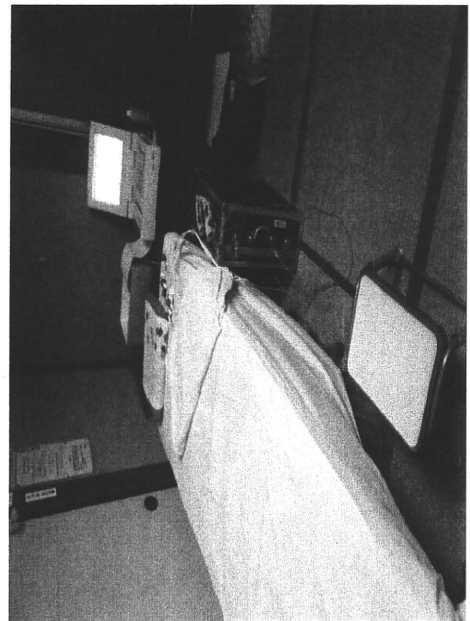
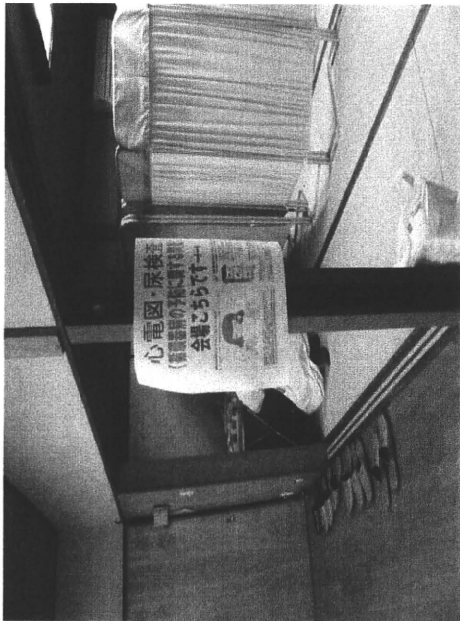
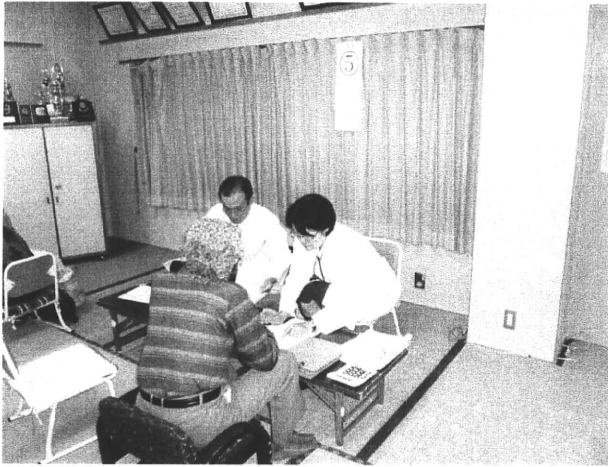
1. 血液検査依頼票写し、尿検査依頼票写しの氏名欄右側の枠にチェックが入っていること、蛍光ペンでラインが引かれていないことを確認する。
2. チェックがない場合
  - ☆ 同意書を確認し、有効な同意書(同意書がないあるいは同意書の最低記入事項(署名がないあるいは“①本日の調査にご協力ください”に○がない)がない場合)がある場合は氏名欄右側の枠にチェックをする。
  - ☆ 同意書を確認し、有効な同意書がない場合は依頼票写しの検体 No から氏名の欄に蛍光ペンでラインを引く。調査台帳写しを確認し、写しに氏名の記載があるが場合は、“同意書なし”(同意書がない場合)あるいは“同意書不適”(同意書の最低記入事項がない場合)の該当の物を記載する。
3. 調査台帳写しの受付番号と氏名と一致する場合
  - ☆ 検査依頼票写しの該当者の調査台帳写しを確認する。受付番号と氏名を確認し同一人の有効な同意書がある場合は氏名欄右側の枠に“ok”と記載。
4. 調査台帳写しの受付番号と氏名と一致しない場合
  - ☆ 検査依頼票写しの受付番号を二重線で引き、横に正しい受付番号を記載する。
5. 赤の二重線で氏名が消されている場合は依頼票写しの左肩に赤字で変更ありと記載していることを確認する。
6. すべてを確認し、検査依頼票写しに削除者がいなかった場合
  1. 宅配便受取票の責任者欄にサインをする。
  2. SRLに血液検査依頼票写しの左上に確認済みと記載し、右肩に2から順に通し番号を記入する
  3. Fax 送信票の氏名、送信枚数を記入し、下段の下線の上に“別紙のとおり問題はありませんでした”にチェックを入れる。
  4. \*\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*に Fax 送信票と血液検査依頼票を Fax する
7. すべてを確認し、検査依頼票写しに変更者がいた場合
  1. 宅配便受取票の責任者欄にサインをする。
  2. SRLに血液検査依頼票写しの右肩に2から順に通し番号を記入する。左上に変更がなかった依頼票には確認済みと記載する。変更があったものは左上に変更ありと記載していること及び検体番号の欄の左側に”同意なし”と記載していることを確認する。
  3. 尿検査依頼票で訂正があった場合は血液検査依頼票写しの番号と通しで尿検査依頼票の右肩に番号を記入し、左上に変更がなかった依頼票には確認済みと記載する。変更があったものは左上に変更ありと記載していること及び検体番号の欄の左側に”同意なし”と記載していることを確認する。(尿検査依頼票で訂正がなかった場合は尿検査依頼票は Fax しないので記入は不要)
  4. Fax 送信票の氏名、送信枚数を記入し、下段の下線の上に“検査取り消しの検体

がありますので、至急対応をお願いいたします。”にチェックを入れる。取り消し検体の検体番号およびカナ氏名、検査依頼票の右肩の番号を取り消し検体の欄に記入する。尿検体の場合は“尿”と記入する。

5. \*\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*に Fax 送信票と血液検査依頼票を Fax する。尿検体の取り消しがあつた場合は尿検査依頼票も送付する。
6. SRL に検査対象者の変更があつたことを電話で伝える。
8. SRL から Fax にて受信確認が送られてきたことを確認する。20～30分以内に送付されない場合は SRL に確認する。
9. 宅配便受取票を再確認担当者に渡して入力を依頼する。
10. Fax 送信票と血液依頼票写し、尿検査依頼票写しは SRL 送信控えのファイルに綴じる。

# 資料 17 調査会場風景等

調査会場風景（平成 22 年 11 月）



調査会場風景（平成 22 年 11 月）

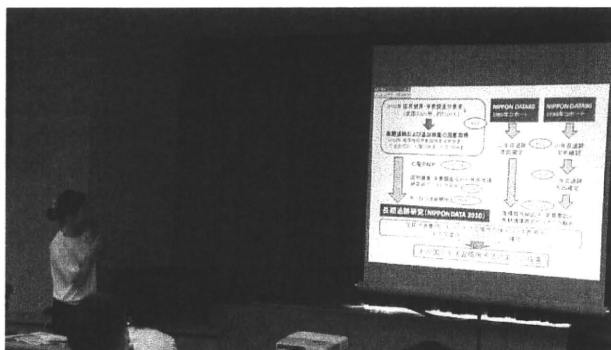


研究班調査員を対象とした研修会  
（平成 22 年 8 月 6 日 東京 学士会館）



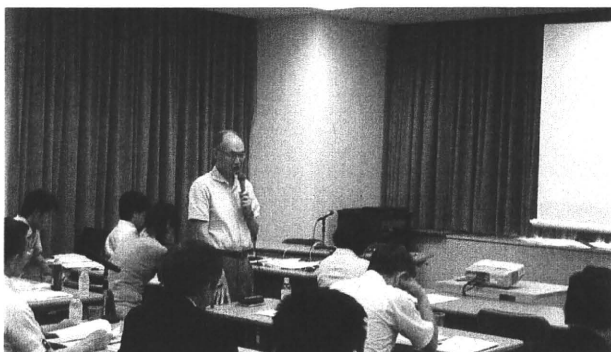
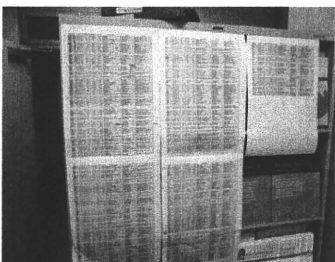


地区担当者（研究分担者・研究協力者）を対象とした研修会（平成 22 年 7 月 大阪及び東京）



帳票処理作業（滋賀医科大学中央事務局）

平成 22 年 11 月





## 本当に血管が若返る！コレステロール調節術

2011年1月19日放送



### 今回の番組について

コレステロールと言えば、血管にたまって動脈硬化を引き起こし、心筋梗塞など命に関わる病気の原因となる悪いやつ・・・というのはもはや常識。誰もが一度は聞いたことがある善玉・悪玉の話や、コレステロールを下げる食品の話など、さまざまな情報があふれています。ところが今回、番組が調べてみたら、意外にもコレステロールについては知らないことが、たくさん。例えば・・・。

「卵に含まれているコレステロールは善玉？悪玉？」

この質問に、自信をもって答えられる人は、驚くほど少ないんです！

意外と知らないコレステロール、今さら聞けない基本から最新情報まで、一挙公開です。



### 番組ディレクターのひとこと

コレステロールは栄養！

「コレステロール=悪いもの」というイメージがすっかり定着していましたが

「体にとって重要な栄養素の1つ」でもあるんですね。

「コレステロールを減らそう」と、がんばり過ぎて、

「低栄養」になってしまうケースもあるとのこと。

気をつけたいです。





# あなたの危険度はどのくらい？

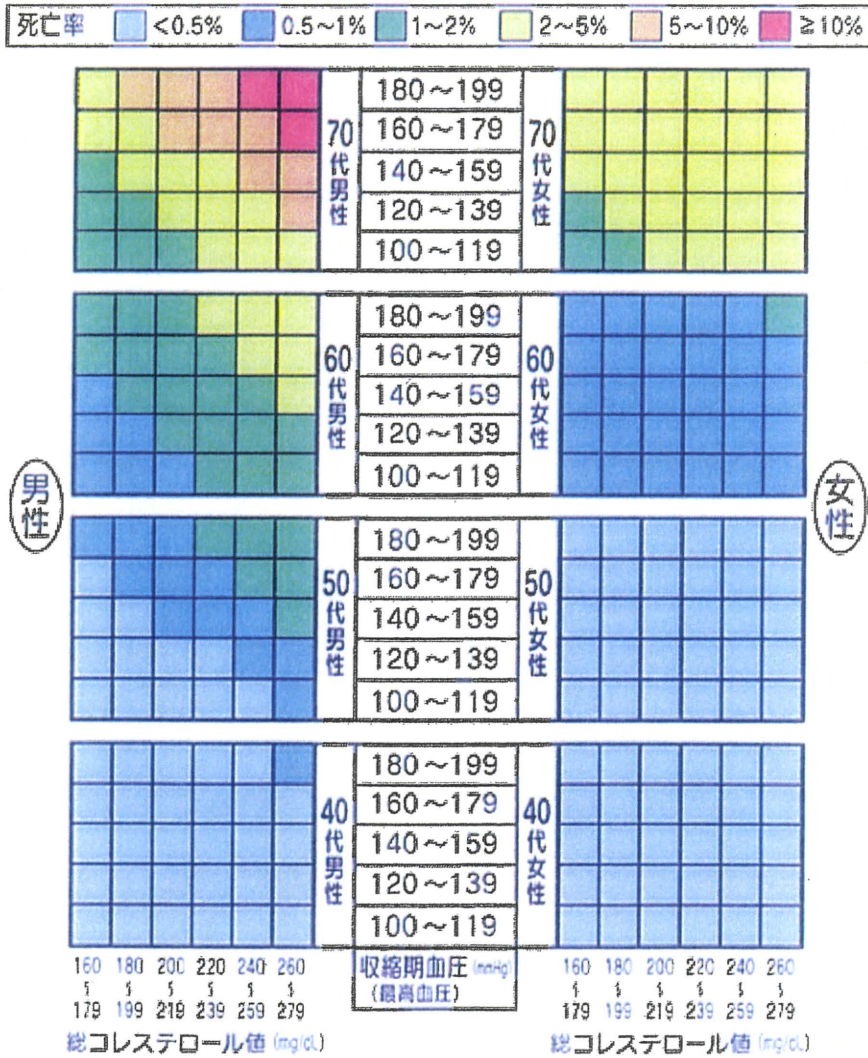
コレステロール値が最も大きく影響する病気は**心臓病**です。

そこで、およそ1万人の日本人を19年間調査した結果をもとに、

「コレステロール値」と「心臓病」の関係を示す表が作られました。

## 10年後の冠動脈疾患死亡のリスク評価チャート

※非喫煙、非空腹時血糖値200mg/dl未満の場合



出典：NIPPON DATA80（一部改変）

滋賀医科大学 上島弘嗣名誉教授

女性は同年代の男性に比べて、はるかに**危険度が低い**ことが分かります。

しかし、**喫煙**、**高血糖**など他の危険因子がある場合、女性でも危険度は高くなります。


特に、血糖値が高い場合は**男性よりも危険になる場合**もあるので注意が必要です。

コレステロールの治療を受けている方は、**医師の指示に従って下さい**。



NHKテレビテキスト

# きよりの健康

わかりやすく、確かな情報で 

3

2月28日～3月24日  
教育テレビ ④～⑤  
午後8時30分～8時45分

再放送(要注)  
教育テレビ ④～⑤  
午後0時30分～0時45分

2011

【特集】

1万人調査から  
わかった

- 静脈にできる血栓
- がん患者サロン

食で健康づくり!

カルシウムをとるのは簡単!?

【アンコール放送】

- あきらめないで! 脳卒中のリハビリ
- 1型糖尿病治療最前線

【テキスト企画】

- 悩んでいませんか?  
そけい部の膨らみ
- 膀胱炎の予防と治療
- 納得は回復の近道!  
がん治療の“いま”

## 生活習慣病 予防

- 血圧はこう下げる
- 糖尿病は気づかぬうちに
- コレステロールのバランスって?
- 生活改善失敗しないために

### あきらめないで! 歩くときの痛み

股関節、ひざ、かかとの痛みに対策あり!  
痛みを軽減・予防! 装具療法







月		火		水		木		金	
きよの健康									
2/28		1	2	3	4	5	6	7	8
	血圧はこう下げる 上島弘樹 p.6	1万人調査からわかった生活習慣病予防 糖尿病は気づかぬうちに 上島弘樹 p.10	コレステロールのバランスって? 上島弘樹 p.14	生活改善失敗しないために 上島弘樹 p.18	1万人調査からわかった生活習慣病予防 上島弘樹				
7		8	9	10	11	12	13	14	15
	立ち上がる時の股関節の痛み 山本精三 p.50	あきらめないで! 歩くときの痛み 関節を下りるときのかかとが痛い! 足底筋膜炎 山本精三 p.54	痛みを軽減・予防! 器具療法 山本精三 p.62	あきらめないで! 歩くときの痛み 山本精三	あなただけで静脈にできる血栓 手術後は特に注意 中村長満 p.74	あなただけで静脈にできる血栓 手術後は特に注意 中村長満 p.74	あなただけで静脈にできる血栓 手術後は特に注意 中村長満 p.74	あなただけで静脈にできる血栓 手術後は特に注意 中村長満 p.74	あなただけで静脈にできる血栓 手術後は特に注意 中村長満 p.74
14		15	16	17	18	19	20	21	22
	あなただけで静脈にできる血栓 健康な人でも注意 中村長満 p.70	あなただけで静脈にできる血栓 手術後は特に注意 中村長満 p.74	がん患者サロン 岡田清美 p.66	食で健康づくり! カルジウムをとるのは簡単!? 豊田真美 p.22	あなただけで静脈にできる血栓 中村長満	あなただけで静脈にできる血栓 中村長満	あなただけで静脈にできる血栓 中村長満	あなただけで静脈にできる血栓 中村長満	あなただけで静脈にできる血栓 中村長満
21		22	23	24	25	26	27	28	29
	続けるコツは? 岡島康友 p.78	食べるを楽しく安全に 岡島康友 p.80	重いマヒリハビリのコツ 岡島康友 p.83	[アンコール放送] 1型糖尿病治療最新情報 柳理雄也 p.87	[アンコール放送] あきらめないで! 脳卒中のリハビリ 岡島康友	[アンコール放送] 静脈の痛み 中村長満	[アンコール放送] あきらめないで! 脳卒中のリハビリ 岡島康友	[アンコール放送] あきらめないで! 脳卒中のリハビリ 岡島康友	[アンコール放送] あきらめないで! 脳卒中のリハビリ 岡島康友
28		29	30	31					

※特別番組などにより放送変更・休止することがあります。また、テキストと番組では、一部内容などが異なる場合があります。ご了承ください。

●放送時間のご案内

きよの健康  
教育テレビ(月~金) 午後8時30分~8時45分  
再放送(翌週) 午後0時30分~0時45分

ここが聞きたい! 名医にQ

教育テレビ(土) 午後8時00分~8時54分  
再放送(翌週金曜日) 午後1時05分~1時59分

先どり きよの健康  
総合テレビ(日) 午前5時15分~5時30分

\*月~木曜日の放送は、目の不自由な人たちのための音声による「解説放送」、耳の不自由な人たちのための「字幕放送」も行っています。  
\*金曜日の「Q&A」の放送は、「解説放送」、「字幕放送」、テキストと併録されています。内容はテキストと2011年6月号に記載する予定です。  
\*土曜日の「ここが聞きたい! 名医にQ」はテキストと併録がありません。  
\*日曜日の「先どりきよの健康」は、今後放送予定の内容を一定早くお届けします。



医学・医療、健康に関する情報があふれるなか、「確かで信頼できる情報」が求められています。「きよの健康」では、「健康長寿」「科学的根拠に基づいた医療」「患者の視点」などを柱としながら、常に「確かで信頼できる情報」を提供することに努めています。病気に悩む方やそのご家族、さらにいつまでも健康でいたいとおっしゃる方にむけて、予防、検査、治療などについての最新情報を、とことんわかりやすくお伝えしていきます。

みなさまからの質問を受け付けています  
金曜日の「きよの健康」では、視聴者のみなさまからの質問にお答えします。ご質問をお寄せください。

アクセス 03-5454-9001 (ファックス用紙は14ページです)  
インターネット <http://www.nhk.or.jp/kenko/>

\*ファックス、メールをお送りいただく際は、あるしければ、お名前・電話番号もおまかせください。ただし、ご質問・ご回答への個別のご返信は致しませんのであらかじめご了承ください。  
※お寄せいただいたご質問は、「ここが聞きたい! 名医にQ」の中でも使用させていただく場合があります。



「きよの健康」「名医にQ」はNHKオンラインで配信しています。

<https://www.nhk-ondemand.jp/>

番組へのご意見・ご感想はこちらまで

NHKふれあいセンター ☎0570-066-066 (テレビダイヤル)

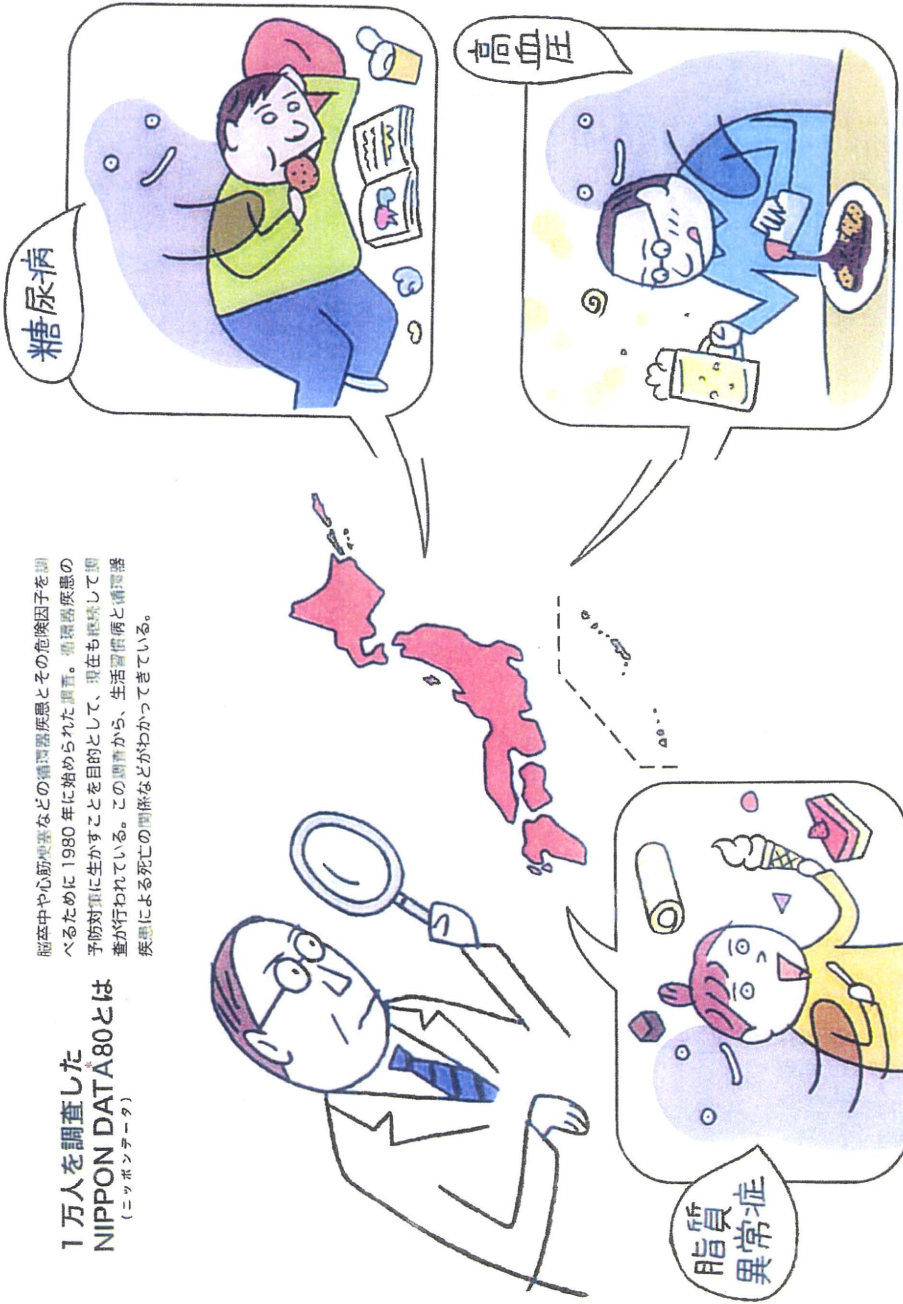
※このテレビダイヤルは通常の電話料金がかかります。



特集

# 1万人調査からわかった 生活習慣病予防

「脳卒中」や「心筋梗塞」といった命に関わる病気に深い関係がある「高血圧」「糖尿病」「脂質異常症」などの「生活習慣病」。今回は、日本全国30か所の合計約1万人を対象とした調査からわかってきたことを基に、生活習慣病予防のポイントを紹介しします。



脳卒中や心筋梗塞などの循環器疾患とその危険因子を調べるために1980年に始められた調査。循環器疾患の予防対策に生かすことを目的として、現在も継続して調査が行われている。この調査から、生活習慣病と循環器疾患による死亡の関連などがわかってきている。

1万人を調査した  
NIPPON DATA80とは  
(ニッポンデータ)

**上島弘嗣**  
滋賀医科大学生活習慣病  
予防センター特任教授



うえししま・ひろつぐ 1943  
年生まれ。71年名古屋大医学  
部卒業。専門は循環器疾  
患の公衆衛生、予防医学

- 高血圧を予防  
2月28日放送  
血圧はこう下げる  
▶ 6ページ
- 糖尿病を予防  
3月1日放送  
糖尿病は  
気づかぬうちに  
▶ 10ページ
- 脂質異常症を予防  
3月2日放送  
コレステロールの  
バランスって?  
▶ 14ページ
- リスクを知る  
3月3日放送  
生活改善  
失敗しないために  
▶ 18ページ

\*NIPPON DATAとは、「The National Integrated Project for Prospective Observation of Non-communicable Disease And Its Trends in the Aged」の略称。

イラスト・藤原孝士

## 成分表で摂取量チェック

厚生労働省の食事摂取基準も見直され、今月から塩分摂取の目標量は、男性が一日10gから9gに、女性は8gから7.5gに下がった。

外食など、塩分量が表示されているケースは限られるが、加工食品などに含まれる食塩の量なら、成分表でわかる。ナトリウムの表示しかない場合は、2.54倍するといふ。

三浦さんは日常生活での減塩方法を八つ挙げる。①漬けものを控える②めん類の汁は残す③新鮮な食材を使う④みそ汁は具たくさん⑤調味料をむやみに使わない⑥低塩の調味料を使う⑦香辛料、香味野菜や果物の酸味を利用⑧外食や加工食品を控える――。簡単なことから始めたい。

外食メニューに含まれる塩分量の目安

ラーメン	6.0g
かけそば	4.6g
ざるそば	2.7g
かつ丼	4.3g
牛丼	2.9g
ビーフカレー	3.9g
チャーハン	2.6g
にぎりずし	2.6g

※「毎日の食事のカロリ―ガイド」(女子栄養大出版部)より

多く、循環器疾患で死亡する危険性が高くなる。逆に体内から塩分を排出する役割のある野菜と果物を多く食べれば、死亡するリスクが低くなることも分かった。

## 健康

### 減塩のコツ①

木、金、土曜掲載

食塩を多く摂取する人ほど、胃がんや脳卒中を発症しやすいことが、介入が必要になったりする可能性が高い。減塩のコツを考えてみた。

滋養医大教授の三浦克之さんは「日本人の食塩摂取量は減ってきた」と言え、世界的に見ればまだ多い。一日1gの食塩を減らせば、血圧の値が1、下げられる。健康で長生きできる食生活を考えるほしいと語る。三浦さんたちは、国が1980年に行った国民栄養調査の対象者を、24年間追跡調査し、10年後に循環器疾患で死亡するリスクを計算した。

食事からの食塩摂取が多くなるほど、循環器疾患で死亡する危険性が高くなる。逆に体内から塩分を排出する役割のある野菜と果物を多く食べれば、死亡するリスクが低くなることも分かった。



国民栄養調査のロゴ

厚生労働省の食事摂取基準も見直され、今月から塩分摂取の目標量は、男性が一日10gから9gに、女性は8gから7.5gに下がった。

外食など、塩分量が表示されているケースは限られるが、加工食品などに含まれる食塩の量なら、成分表でわかる。ナトリウムの表示しかない場合は、2.54倍するといふ。

三浦さんは日常生活での減塩方法を八つ挙げる。①漬けものを控える②めん類の汁は残す③新鮮な食材を使う④みそ汁は具たくさん⑤調味料をむやみに使わない⑥低塩の調味料を使う⑦香辛料、香味野菜や果物の酸味を利用⑧外食や加工食品を控える――。簡単なことから始めたい。

三浦さんは日常生活での減塩方法を八つ挙げる。①漬けものを控える②めん類の汁は残す③新鮮な食材を使う④みそ汁は具たくさん⑤調味料をむやみに使わない⑥低塩の調味料を使う⑦香辛料、香味野菜や果物の酸味を利用⑧外食や加工食品を控える――。簡単なことから始めたい。



V. 循環器疾患・糖尿病生活習慣病対策  
総合研究事業研究者・担当者一覧



「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業研究者・担当者一覧」

研究代表者

三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授

研究分担者

上島 弘嗣 滋賀医科大学生活習慣病予防センター 特任教授  
和泉 徹 北里大学医学部循環器内科学 教授  
大久保 孝義 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授  
岡村 智教 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授  
岡山 明 公益財団法人結核予防会第一健康相談所 所長  
奥田 奈賀子 公益財団法人結核予防会第一健康相談所生活習慣病予防・研究センター 副センター長  
尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学講座 教授  
笠置 文善 財団法人放射線影響研究所疫学部 副部長  
門田 文 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任講師  
喜多 義邦 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 講師  
清原 裕 九州大学大学院医学研究院環境医学分野 教授  
斎藤 重幸 札幌医科大学医学部内科学第二講座 講師  
坂田 清美 岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座 教授  
中川 秀昭 金沢医科大学公衆衛生学教室 教授  
中村 保幸 京都女子大学家政学部生活福祉学科 教授  
中村 好一 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授  
西 信雄 独立行政法人国立健康・栄養研究所国際産学連携センター センター長  
早川 岳人 福島県立医科大学衛生学・予防医学講座 准教授  
寶澤 篤 山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座 講師  
松村 康弘 桐生大学医療保健学部 教授  
由田 克士 大阪市立大学大学院生活科学研究科 食・健康科学講座 教授

顧問

上田 一雄 医療法人杏林会村上記念病院 名誉院長  
児玉 和紀 財団法人放射線影響研究所 主席研究員  
徳留 信寛 独立行政法人国立健康・栄養研究所 理事長  
柳川 洋 自治医科大学 名誉教授

研究協力者

赤坂 憲	札幌医科大学医学部内科学第二講座
荒井 裕介	千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科
大西 浩文	札幌医科大学医学部内科学第二講座兼公衆衛生学講座
小野田 敏行	岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座
小野 優	国立循環器病センター予防検診部
角野 文彦	滋賀県健康福祉部健康推進課
笠原 賀子	桐生大学医療保健学部
神田 秀幸	福島県立医科大学衛生学・予防医学講座
近藤 今子	浜松大学健康プロデュース部健康栄養学科
櫻井 勝	金沢医科大学公衆衛生学講座
澁谷 いづみ	愛知県半田保健所
高嶋 直敬	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
嶽崎 俊郎	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻 国際島嶼医療学講座
田中 太一郎	山梨大学大学院 医学工学総合研究部社会医学講座
玉腰 浩司	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻
千原 泉	自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門
豊嶋 英明	JA愛知厚生連安城更生病院健康管理センター
長澤 晋哉	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
中村 幸志	金沢医科大学公衆衛生学講座
中村 美詠子	浜松医科大学健康社会医学講座
新村 英士	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻 国際島嶼医療学講座
西村 邦宏	国立循環器病研究センター病院EBM・リスク解析室
野末 みほ	国立健康・栄養研究所 国民健康・栄養調査プロジェクト
早坂 信哉	浜松医科大学健康社会医学講座
東山 綾	兵庫医科大学環境予防医学
福原 正代	九州大学大学院医学研究院環境医学分野
藤吉 朗	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
宮川 尚子	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
宮松 直美	滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座
宮本 恵宏	国立循環器病研究センター病院予防健診部
村上 義孝	滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門
盛永 美保	滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座
森 満	札幌医科大学医学部公衆衛生学講座
山縣 然太郎	山梨大学大学院 医学工学総合研究部社会医学講座
吉田 友紀	北里大学循環器内科学
若林 一郎	兵庫医科大学環境予防医学
渡邊 至	国立循環器病センター予防検診部
Nahid Rumana	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
Robert D Abbott	財団法人放射線影響研究所統計部 主任研究員
Sohel R Choudhury	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
Tanvir C Turin	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門

研究協力健診機関

協力健診機関名	研究協力者
(公財)結核予防会北海道支部	
札幌臨床検査センター(株)	
(公財)結核予防会青森県支部 (財)青森県総合健診センター	常務理事 須藤 俊之
(公財)結核予防会岩手県支部 (財)岩手県予防医学協会	専務理事 田郷 敏昭
(公財)結核予防会宮城県支部	支部長 田中 元直
(公財)結核予防会秋田県支部 (財)秋田県総合保健事業団	常務理事 井上 義朗
(公財)結核予防会山形県支部 (財)山形県結核成人病予防協会	会長 有海 躬行
(公財)結核予防会福島県支部 (財)福島県保健衛生協会	診療部長 星 健也
(公財)結核予防会茨城県支部 (財)茨城県総合健診協会	会長 山口 巖
(公財)結核予防会栃木県支部 (財)栃木県保健衛生事業団	医療局長 森久保 寛
(公財)結核予防会群馬県支部 (財)群馬県健康づくり財団	専務理事・医療局長 真鍋 重夫
(公財)結核予防会埼玉県支部 (財)埼玉県健康づくり事業団	理事長 金井 忠男
(公財)結核予防会千葉県支部 (財)ちば県民保健予防財団	理事長 藤澤 武彦
(公財)結核予防会東京都支部 (財)東京都結核予防会	理事長 石館 敬三
(公財)結核予防会神奈川県支部	中央健康相談所長 長谷川 英之
(財)神奈川県予防医学協会	循環器病予防部長 枋久保 修
(公財)結核予防会新潟県支部 (財)新潟県保健衛生センター	理事長 栗田 雄三
(公財)結核予防会富山県支部 (財)富山県健康増進センター	所長 大江 浩
(公財)結核予防会石川県支部 (財)石川県成人病予防センター	理事長 素谷 宏
(財)福井県予防医学協会	理事長 関 捨男
(公財)結核予防会山梨県支部 (財)山梨県健康管理事業団	理事長 薬袋 健
(公財)結核予防会長野県支部 (財)長野県健康づくり事業団	事業部長 両角 博幸
(社)岐阜県労働基準協会連合会	労働衛生センター所長 上村 博幸
(財)岐阜健康管理センター	
(公財)結核予防会静岡県支部	支部長 川勝 平太
(公財)結核予防会愛知県支部 (財)愛知県健康づくり振興事業団	診療検査部長 河地 豊
(財)公衆保健協会	理事長 細川 秀一
(社)半田市医師会健康管理センター	所長 花井 俊典
(社)豊橋市医師会	
(社)刈谷医師会臨床検査センター	刈谷医師会会長 野村 英雄
(医)愛知集団検診協会	
(医)九愛会中京サテライトクリニック	理事長 南 圭介

(有) 中部臨床衛生検査センター中部クリニック	院長	宮治 眞
(公財) 結核予防会三重県支部 (財) 三重県健康管理事業センター	企画渉外部 課長	中川 朋子
(公財) 結核予防会滋賀県支部 (財) 滋賀県健康づくり財団		
(公財) 結核予防会京都府支部 (財) 京都予防医学センター	会長	森 洋一
(公財) 結核予防会大阪府支部	副支部長	増田 國次
(公財) 結核予防会兵庫県支部 (財) 兵庫県健康財団	保健検診センター所長	伊藤 一夫
(財) 兵庫県予防医学協会	会長	松村 陽右
(財) 尼崎健康・医療事業財団	市民健康開発センター 所長	岩崎 順治
(財) 奈良県健康づくり財団	副所長	福居 健一
(公財) 結核予防会和歌山県支部 (財) 和歌山県民総合健診センター	事務局長	太田 武治
(公財) 結核予防会鳥取県支部 (財) 鳥取県保健事業団	総合健診センター所長	荻野 隆一
(公財) 結核予防会島根県支部 (財) 島根県環境保健公社	臨床検査技師	戸田 隆士
(公財) 結核予防会岡山県支部 (財) 岡山県健康づくり財団		
(公財) 結核予防会広島県支部 (財) 広島県健康福祉センター	健康管理部長	佐古 通
(公財) 結核予防会山口県支部 (財) 山口県予防健康協会	専務理事	重富 昭治
(公財) 結核予防会徳島県支部 (財) 徳島県総合健診センター	参事	本田 浩仁
(公財) 結核予防会香川県支部 (財) 香川県総合健診協会	臨床検査課長	脇 睦恵
(公財) 結核予防会愛媛県支部		
(公財) 結核予防会高知県支部 (財) 高知県総合保健協会	理事長	村山 博良
(公財) 結核予防会福岡県支部	センター長・副支部長	是久 哲郎
(公財) 結核予防会佐賀県支部 (財) 佐賀県総合保健協会	事業部長	甲佐 和宏
(公財) 結核予防会長崎県支部 (財) 長崎県健康事業団	係長	三浦 恵秀
(公財) 結核予防会熊本県支部 (財) 熊本県総合健診センター	所長	土亀 直俊
(公財) 結核予防会大分県支部 (財) 大分県地域保健支援センター	診療所長	後藤 朗
(公財) 結核予防会宮崎県支部 (財) 宮崎県健康づくり協会	健康支援課係長	岩崎 恵子
(公財) 結核予防会鹿児島県支部 (財) 鹿児島県民総合保健センター	理事長	池田 琢哉
(公財) 結核予防会沖縄県支部 (財) 沖縄県総合保健協会	理事長	金城 幸善
(公財) 結核予防会 第一健康相談所		前川 眞悟
(公財) 結核予防会 第一健康相談所		羽生 正一郎
(公財) 結核予防会 第一健康相談所		田中 浩二
(公財) 結核予防会 第一健康相談所		田原 知明
(公財) 結核予防会 第一健康相談所		吉田 さおり
(公財) 結核予防会 第一健康相談所		佐藤 久美子
(公財) 結核予防会 第一健康相談所		坪井 真一

滋賀医科大学中央事務局

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	大原 操
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	吉田 稔美
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	三原 貴子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	桂田 富佐子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	谷口 良子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	船木 彰子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	増田 千秋
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	松川 牧江
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	三宅 和子

厚生労働科学研究費補助金  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)と  
NIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究  
平成22年度 総括・分担研究報告書

平成23年3月31日発行

発行者 「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)と  
NIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究」研究班

発行所 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦 克之  
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
電話 077-548-2191 FAX 077-543-9732